

## 電子情報通信学会 第57回「業績賞」受賞

2020年6月4日に一般社団法人電子情報通信学会より、5Gイノベーション推進室（現、ネットワークイノベーション研究所）の中村 武宏、奥村 幸彦<sup>†1</sup>、今井 哲朗<sup>†2</sup>が、「第5世代移動通信システムの実用化」の功績により2019年度電子情報通信学会業績賞（口号）を受賞しました。

業績賞（口号）は電子工学および情報通信に関する新しい機器、または方式の開発、改良、国際標準化でその効果が顕著であり、近年その業績が明確になったものに対して贈られるものです。

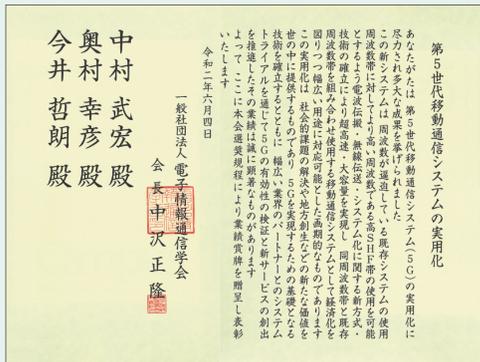
対象業績の「第5世代移動通信システムの実用化」では、受賞した中村、奥村、今井は、将来のモバイルトラフィック需要に対して次世代の移動通信システム（5G）の確立が必要であることを、第4世代

移動通信方式（LTE）が国内で導入された2010年の段階で見だし、高速・大容量、低遅延、多数端末接続などの特長をもつ5Gの実用化に向け、新たな技術・方式の検討を早期に開始するとともに、その後、9年間にわたり研究開発からサービス応用に至る幅広い取組みによる実用化を推進しました。

この実用化は、移動通信システムによる新たな価値を世の中に提供するものであり、これを実現するための礎となる5Gの新たな技術・方式を確立したことが評価され、今回の受賞となりました。

†1 現在、ドコモ・テクノロジー株式会社 携帯事業部 部長  
†2 現在、東京電機大学 工学部 教授

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。



（左から）奥村、中村、今井